

~~1774~~ ~~1775~~ ~~1776~~ ~~1777~~ ~~1778~~ ~~1779~~ ~~1780~~ ~~1781~~ ~~1782~~ ~~1783~~ ~~1784~~ ~~1785~~ ~~1786~~ ~~1787~~ ~~1788~~ ~~1789~~ ~~1790~~ ~~1791~~ ~~1792~~ ~~1793~~ ~~1794~~ ~~1795~~ ~~1796~~ ~~1797~~ ~~1798~~ ~~1799~~ ~~1800~~ ~~1801~~ ~~1802~~ ~~1803~~ ~~1804~~ ~~1805~~ ~~1806~~ ~~1807~~ ~~1808~~ ~~1809~~ ~~1810~~ ~~1811~~ ~~1812~~ ~~1813~~ ~~1814~~ ~~1815~~ ~~1816~~ ~~1817~~ ~~1818~~ ~~1819~~ ~~1820~~ ~~1821~~ ~~1822~~ ~~1823~~ ~~1824~~ ~~1825~~ ~~1826~~ ~~1827~~ ~~1828~~ ~~1829~~ ~~1830~~ ~~1831~~ ~~1832~~ ~~1833~~ ~~1834~~ ~~1835~~ ~~1836~~ ~~1837~~ ~~1838~~ ~~1839~~ ~~1840~~ ~~1841~~ ~~1842~~ ~~1843~~ ~~1844~~ ~~1845~~ ~~1846~~ ~~1847~~ ~~1848~~ ~~1849~~ ~~1850~~ ~~1851~~ ~~1852~~ ~~1853~~ ~~1854~~ ~~1855~~ ~~1856~~ ~~1857~~ ~~1858~~ ~~1859~~ ~~1860~~ ~~1861~~ ~~1862~~ ~~1863~~ ~~1864~~ ~~1865~~ ~~1866~~ ~~1867~~ ~~1868~~ ~~1869~~ ~~1870~~ ~~1871~~ ~~1872~~ ~~1873~~ ~~1874~~ ~~1875~~ ~~1876~~ ~~1877~~ ~~1878~~ ~~1879~~ ~~1880~~ ~~1881~~ ~~1882~~ ~~1883~~ ~~1884~~ ~~1885~~ ~~1886~~ ~~1887~~ ~~1888~~ ~~1889~~ ~~1890~~ ~~1891~~ ~~1892~~ ~~1893~~ ~~1894~~ ~~1895~~ ~~1896~~ ~~1897~~ ~~1898~~ ~~1899~~ ~~1900~~ ~~1901~~ ~~1902~~ ~~1903~~ ~~1904~~ ~~1905~~ ~~1906~~ ~~1907~~ ~~1908~~ ~~1909~~ ~~1910~~ ~~1911~~ ~~1912~~ ~~1913~~ ~~1914~~ ~~1915~~ ~~1916~~ ~~1917~~ ~~1918~~ ~~1919~~ ~~1920~~ ~~1921~~ ~~1922~~ ~~1923~~ ~~1924~~ ~~1925~~ ~~1926~~ ~~1927~~ ~~1928~~ ~~1929~~ ~~1930~~ ~~1931~~ ~~1932~~ ~~1933~~ ~~1934~~ ~~1935~~ ~~1936~~ ~~1937~~ ~~1938~~ ~~1939~~ ~~1940~~ ~~1941~~ ~~1942~~ ~~1943~~ ~~1944~~ ~~1945~~ ~~1946~~ ~~1947~~ ~~1948~~ ~~1949~~ ~~1950~~ ~~1951~~ ~~1952~~ ~~1953~~ ~~1954~~ ~~1955~~ ~~1956~~ ~~1957~~ ~~1958~~ ~~1959~~ ~~1960~~ ~~1961~~ ~~1962~~ ~~1963~~ ~~1964~~ ~~1965~~ ~~1966~~ ~~1967~~ ~~1968~~ ~~1969~~ ~~1970~~ ~~1971~~ ~~1972~~ ~~1973~~ ~~1974~~ ~~1975~~ ~~1976~~ ~~1977~~ ~~1978~~ ~~1979~~ ~~1980~~ ~~1981~~ ~~1982~~ ~~1983~~ ~~1984~~ ~~1985~~ ~~1986~~ ~~1987~~ ~~1988~~ ~~1989~~ ~~1990~~ ~~1991~~ ~~1992~~ ~~1993~~ ~~1994~~ ~~1995~~ ~~1996~~ ~~1997~~ ~~1998~~ ~~1999~~ ~~2000~~ ~~2001~~ ~~2002~~ ~~2003~~ ~~2004~~ ~~2005~~ ~~2006~~ ~~2007~~ ~~2008~~ ~~2009~~ ~~2010~~ ~~2011~~ ~~2012~~ ~~2013~~ ~~2014~~ ~~2015~~ ~~2016~~ ~~2017~~ ~~2018~~ ~~2019~~ ~~2020~~ ~~2021~~ ~~2022~~ ~~2023~~ ~~2024~~ ~~2025~~ ~~2026~~ ~~2027~~ ~~2028~~ ~~2029~~ ~~2030~~ ~~2031~~ ~~2032~~ ~~2033~~ ~~2034~~ ~~2035~~ ~~2036~~ ~~2037~~ ~~2038~~ ~~2039~~ ~~2040~~ ~~2041~~ ~~2042~~ ~~2043~~ ~~2044~~ ~~2045~~ ~~2046~~ ~~2047~~ ~~2048~~ ~~2049~~ ~~2050~~ ~~2051~~ ~~2052~~ ~~2053~~ ~~2054~~ ~~2055~~ ~~2056~~ ~~2057~~ ~~2058~~ ~~2059~~ ~~2060~~ ~~2061~~ ~~2062~~ ~~2063~~ ~~2064~~ ~~2065~~ ~~2066~~ ~~2067~~ ~~2068~~ ~~2069~~ ~~2070~~ ~~2071~~ ~~2072~~ ~~2073~~ ~~2074~~ ~~2075~~ ~~2076~~ ~~2077~~ ~~2078~~ ~~2079~~ ~~2080~~ ~~2081~~ ~~2082~~ ~~2083~~ ~~2084~~ ~~2085~~ ~~2086~~ ~~2087~~ ~~2088~~ ~~2089~~ ~~2090~~ ~~2091~~ ~~2092~~ ~~2093~~ ~~2094~~ ~~2095~~ ~~2096~~ ~~2097~~ ~~2098~~ ~~2099~~ ~~2100~~ ~~2101~~ ~~2102~~ ~~2103~~ ~~2104~~ ~~2105~~ ~~2106~~ ~~2107~~ ~~2108~~ ~~2109~~ ~~2110~~ ~~2111~~ ~~2112~~ ~~2113~~ ~~2114~~ ~~2115~~ ~~2116~~ ~~2117~~ ~~2118~~ ~~2119~~ ~~2120~~ ~~2121~~ ~~2122~~ ~~2123~~ ~~2124~~ ~~2125~~ ~~2126~~ ~~2127~~ ~~2128~~ ~~2129~~ ~~2130~~ ~~2131~~ ~~2132~~ ~~2133~~ ~~2134~~ ~~2135~~ ~~2136~~ ~~2137~~ ~~2138~~ ~~2139~~ ~~2140~~ ~~2141~~ ~~2142~~ ~~2143~~ ~~2144~~ ~~2145~~ ~~2146~~ ~~2147~~ ~~2148~~ ~~2149~~ ~~2150~~ ~~2151~~ ~~2152~~ ~~2153~~ ~~2154~~ ~~2155~~ ~~2156~~ ~~2157~~ ~~2158~~ ~~2159~~ ~~2160~~ ~~2161~~ ~~2162~~ ~~2163~~ ~~2164~~ ~~2165~~ ~~2166~~ ~~2167~~ ~~2168~~ ~~2169~~ ~~2170~~ ~~2171~~ ~~2172~~ ~~2173~~ ~~2174~~ ~~2175~~ ~~2176~~ ~~2177~~ ~~2178~~ ~~2179~~ ~~2180~~ ~~2181~~ ~~2182~~ ~~2183~~ ~~2184~~ ~~2185~~ ~~2186~~ ~~2187~~ ~~2188~~ ~~2189~~ ~~2190~~ ~~2191~~ ~~2192~~ ~~2193~~ ~~2194~~ ~~2195~~ ~~2196~~ ~~2197~~ ~~2198~~ ~~2199~~ ~~2200~~ ~~2201~~ ~~2202~~ ~~2203~~ ~~2204~~ ~~2205~~ ~~2206~~ ~~2207~~ ~~2208~~ ~~2209~~ ~~2210~~ ~~2211~~ ~~2212~~ ~~2213~~ ~~2214~~ ~~2215~~ ~~2216~~ ~~2217~~ ~~2218~~ ~~2219~~ ~~2220~~ ~~2221~~ ~~2222~~ ~~2223~~ ~~2224~~ ~~2225~~ ~~2226~~ ~~2227~~ ~~2228~~ ~~2229~~ ~~2230~~ ~~2231~~ ~~2232~~ ~~2233~~ ~~2234~~ ~~2235~~ ~~2236~~ ~~2237~~ ~~2238~~ ~~2239~~ ~~2240~~ ~~2241~~ ~~2242~~ ~~2243~~ ~~2244~~ ~~2245~~ ~~2246~~ ~~2247~~ ~~2248~~ ~~2249~~ ~~2250~~ ~~2251~~ ~~2252~~ ~~2253~~ ~~2254~~ ~~2255~~ ~~2256~~ ~~2257~~ ~~2258~~ ~~2259~~ ~~2260~~ ~~2261~~ ~~2262~~ ~~2263~~ ~~2264~~ ~~2265~~ ~~2266~~ ~~2267~~ ~~2268~~ ~~2269~~ ~~2270~~ ~~2271~~ ~~2272~~ ~~2273~~ ~~2274~~ ~~2275~~ ~~2276~~ ~~2277~~ ~~2278~~ ~~2279~~ ~~2280~~ ~~2281~~ ~~2282~~ ~~2283~~ ~~2284~~ ~~2285~~ ~~2286~~ ~~2287~~ ~~2288~~ ~~2289~~ ~~2290~~ ~~2291~~ ~~2292~~ ~~2293~~ ~~2294~~ ~~2295~~ ~~2296~~ ~~2297~~ ~~2298~~ ~~2299~~ ~~2300~~ ~~2301~~ ~~2302~~ ~~2303~~ ~~2304~~ ~~2305~~ ~~2306~~ ~~2307~~ ~~2308~~ ~~2309~~ ~~2310~~ ~~2311~~ ~~2312~~ ~~2313~~ ~~2314~~ ~~2315~~ ~~2316~~ ~~2317~~ ~~2318~~ ~~2319~~ ~~2320~~ ~~2321~~ ~~2322~~ ~~2323~~ ~~2324~~ ~~2325~~ ~~2326~~ ~~2327~~ ~~2328~~ ~~2329~~ ~~2330~~ ~~2331~~ ~~2332~~ ~~2333~~ ~~2334~~ ~~2335~~ ~~2336~~ ~~2337~~ ~~2338~~ ~~2339~~ ~~2340~~ ~~2341~~ ~~2342~~ ~~2343~~ ~~2344~~ ~~2345~~ ~~2346~~ ~~2347~~ ~~2348~~ ~~2349~~ ~~2350~~ ~~2351~~ ~~2352~~ ~~2353~~ ~~2354~~ ~~2355~~ ~~2356~~ ~~2357~~ ~~2358~~ ~~2359~~ ~~2360~~ ~~2361~~ ~~2362~~ ~~2363~~ ~~2364~~ ~~2365~~ ~~2366~~ ~~2367~~ ~~2368~~ ~~2369~~ ~~2370~~ ~~2371~~ ~~2372~~ ~~2373~~ ~~2374~~ ~~2375~~ ~~2376~~ ~~2377~~ ~~2378~~ ~~2379~~ ~~2380~~ ~~2381~~ ~~2382~~ ~~2383~~ ~~2384~~ ~~2385~~ ~~2386~~ ~~2387~~ ~~2388~~ ~~2389~~ ~~2390~~ ~~2391~~ ~~2392~~ ~~2393~~ ~~2394~~ ~~2395~~ ~~2396~~ ~~2397~~ ~~2398~~ ~~2399~~ ~~2400~~ ~~2401~~ ~~2402~~ ~~2403~~ ~~2404~~ ~~2405~~ ~~2406~~ ~~2407~~ ~~2408~~ ~~2409~~ ~~2410~~ ~~2411~~ ~~2412~~ ~~2413~~ ~~2414~~ ~~2415~~ ~~2416~~ ~~2417~~ ~~2418~~ ~~2419~~ ~~2420~~ ~~2421~~ ~~2422~~ ~~2423~~ ~~2424~~ ~~2425~~ ~~2426~~ ~~2427~~ ~~2428~~ ~~2429~~ ~~2430~~ ~~2431~~ ~~2432~~ ~~2433~~ ~~2434~~ ~~2435~~ ~~2436~~ ~~2437~~ ~~2438~~ ~~2439~~ ~~2440~~ ~~2441~~ ~~2442~~ ~~2443~~ ~~2444~~ ~~2445~~ ~~2446~~ ~~2447~~ ~~2448~~ ~~2449~~ ~~2450~~ ~~2451~~ ~~2452~~ ~~2453~~ ~~2454~~ ~~2455~~ ~~2456~~ ~~2457~~ ~~2458~~ ~~2459~~ ~~2460~~ ~~2461~~ ~~2462~~ ~~2463~~ ~~2464~~ ~~2465~~ ~~2466~~ ~~2467~~ ~~2468~~ ~~2469~~ ~~2470~~ ~~2471~~ ~~2472~~ ~~2473~~ ~~2474~~ ~~2475~~ ~~2476~~ ~~2477~~ ~~2478~~ ~~2479~~ ~~2480~~ ~~2481~~ ~~2482~~ ~~2483~~ ~~2484~~ ~~2485~~ ~~2486~~ ~~2487~~ ~~2488~~ ~~2489~~ ~~2490~~ ~~2491~~ ~~2492~~ ~~2493~~ ~~2494~~ ~~2495~~ ~~2496~~ ~~2497~~ ~~2498~~ ~~2499~~ ~~2500~~ ~~2501~~ ~~2502~~ ~~2503~~ ~~2504~~ ~~2505~~ ~~2506~~ ~~2507~~ ~~2508~~ ~~2509~~ ~~2510~~ ~~2511~~ ~~2512~~ ~~2513~~ ~~2514~~ ~~2515~~ ~~2516~~ ~~2517~~ ~~2518~~ ~~2519~~ ~~2520~~ ~~2521~~ ~~2522~~ ~~2523~~ ~~2524~~ ~~2525~~ ~~2526~~ ~~2527~~ ~~2528~~ ~~2529~~ ~~2530~~ ~~2531~~ ~~2532~~ ~~2533~~ ~~2534~~ ~~2535~~ ~~2536~~ ~~2537~~ ~~2538~~ ~~2539~~ ~~2540~~ ~~2541~~ ~~2542~~ ~~2543~~ ~~2544~~ ~~2545~~ ~~2546~~ ~~2547~~ ~~2548~~ ~~2549~~ ~~2550~~ ~~2551~~ ~~2552~~ ~~2553~~ ~~2554~~ ~~2555~~ ~~2556~~ ~~2557~~ ~~2558~~ ~~2559~~ ~~2560~~ ~~2561~~ ~~2562~~ ~~2563~~ ~~2564~~ ~~2565~~ ~~2566~~ ~~2567~~ ~~2568~~ ~~2569~~ ~~2570~~ ~~2571~~ ~~2572~~ ~~2573~~ ~~2574~~ ~~2575~~ ~~2576~~ ~~2577~~ ~~2578~~ ~~2579~~ ~~2580~~ ~~2581~~ ~~2582~~ ~~2583~~ ~~2584~~ ~~2585~~ ~~2586~~ ~~2587~~ ~~2588~~ ~~2589~~ ~~2590~~ ~~2591~~ ~~2592~~ ~~2593~~ ~~2594~~ ~~2595~~ ~~2596~~ ~~2597~~ ~~2598~~ ~~2599~~ ~~2600~~ ~~2601~~ ~~2602~~ ~~2603~~ ~~2604~~ ~~2605~~ ~~2606~~ ~~2607~~ ~~2608~~ ~~2609~~ ~~2610~~ ~~2611~~ ~~2612~~ ~~2613~~ ~~2614~~ ~~2615~~ ~~2616~~ ~~2617~~ ~~2618~~ ~~2619~~ ~~2620~~ ~~2621~~ ~~2622~~ ~~2623~~ ~~2624~~ ~~2625~~ ~~2626~~ ~~2627~~ ~~2628~~ ~~2629~~ ~~2630~~ ~~2631~~ ~~2632~~ ~~2633~~ ~~2634~~ ~~2635~~ ~~2636~~ ~~2637~~ ~~2638~~ ~~2639~~ ~~2640~~ ~~2641~~ ~~2642~~ ~~2643~~ ~~2644~~ ~~2645~~ ~~2646~~ ~~2647~~ ~~2648~~ ~~2649~~ ~~2650~~ ~~2651~~ ~~2652~~ ~~2653~~ ~~2654~~ ~~2655~~ ~~2656~~ ~~2657~~ ~~2658~~ ~~2659~~ ~~2660~~ ~~2661~~ ~~2662~~ ~~2663~~ ~~2664~~ ~~2665~~ ~~2666~~ ~~2667~~ ~~2668~~ ~~2669~~ ~~2670~~ ~~2671~~ ~~2672~~ ~~2673~~ ~~2674~~ ~~2675~~ ~~2676~~ ~~2677~~ ~~2678~~ ~~2679~~ ~~2680~~ ~~2681~~ ~~2682~~ ~~2683~~ ~~2684~~ ~~2685~~ ~~2686~~ ~~2687~~ ~~2688~~ ~~2689~~ ~~2690~~ ~~2691~~ ~~2692~~ ~~2693~~ ~~2694~~ ~~2695~~ ~~2696~~ ~~2697~~ ~~2698~~ ~~2699~~ ~~2700~~ ~~2701~~ ~~2702~~ ~~2703~~ ~~2704~~ ~~2705~~ ~~2706~~ ~~2707~~ ~~2708~~ ~~2709~~ ~~2710~~ ~~2711~~ ~~2712~~ ~~2713~~ ~~2714~~ ~~2715~~ ~~2716~~ ~~2717~~ ~~2718~~ ~~2719~~ ~~2720~~ ~~2721~~ ~~2722~~ ~~2723~~ ~~2724~~ ~~2725~~ ~~2726~~ ~~2727~~ ~~2728~~ ~~2729~~ ~~2730~~ ~~2731~~ ~~2732~~ ~~2733~~ ~~2734~~ ~~2735~~ ~~2736~~ ~~2737~~ ~~2738~~ ~~2739~~ ~~2740~~ ~~2741~~ ~~2742~~ ~~2743~~ ~~2744~~ ~~2745~~ ~~2746~~ ~~2747~~ ~~2748~~ ~~2749~~ ~~2750~~ ~~2751~~ ~~2752~~ ~~2753~~ ~~2754~~ ~~2755~~ ~~2756~~ ~~2757~~ ~~2758~~ ~~2759~~ ~~2760~~ ~~2761~~ ~~2762~~ ~~2763~~ ~~2764~~ ~~2765~~ ~~2766~~ ~~2767~~ ~~2768~~ ~~2769~~ ~~2770~~ ~~2771~~ ~~2772~~ ~~2773~~ ~~2774~~ ~~2775~~ ~~2776~~ ~~2777~~ ~~2778~~ ~~2779~~ ~~2780~~ ~~2781~~ ~~2782~~ ~~2783~~ ~~2784~~ ~~2785~~ ~~2786~~ ~~2787~~ ~~2788~~ ~~2789~~ ~~2790~~ ~~2791~~ ~~2792~~ ~~2793~~ ~~2794~~ ~~2795~~ ~~2796~~ ~~2797~~ ~~2798~~ ~~2799~~ ~~2800~~ ~~2801~~ ~~2802~~ ~~2803~~ ~~2804~~ ~~2805~~ ~~2806~~ ~~2807~~ ~~2808~~ ~~2809~~ ~~2810~~ ~~2811~~ ~~2812~~ ~~2813~~ ~~2814~~ ~~2815~~ ~~2816~~ ~~2817~~ ~~2818~~ ~~2819~~ ~~2820~~ ~~2821~~ ~~2822~~ ~~2823~~ ~~2824~~ ~~2825~~ ~~2826~~ ~~2827~~ ~~2828~~ ~~2829~~ ~~2830~~ ~~2831~~ ~~2832~~ ~~2833~~ ~~2834~~ ~~2835~~ ~~2836~~ ~~2837~~ ~~2838~~ ~~2839~~ ~~2840~~ ~~2841~~ ~~2842~~ ~~2843~~ ~~2844~~ ~~2845~~ ~~2846~~ ~~2847~~ ~~2848~~ ~~2849~~ ~~2850~~ ~~2851~~ ~~2852~~ ~~2853~~ ~~2854~~ ~~2855~~ ~~2856~~ ~~2857~~ ~~2858~~ ~~2859~~ ~~2860~~ ~~2861~~ ~~2862~~ ~~2863~~ ~~2864~~ ~~2865~~ ~~2866~~ ~~2867~~ ~~2868~~ ~~2869~~ ~~2870~~ ~~2871~~ ~~2872~~ ~~2873~~ ~~2874~~ ~~2875~~ ~~2876~~ ~~2877~~ ~~2878~~ ~~2879~~ ~~2880~~ ~~2881~~ ~~2882~~ ~~2883~~ ~~2884~~ ~~2885~~ ~~2886~~ ~~2887~~ ~~2888~~ ~~2889~~ ~~2890~~ ~~2891~~ ~~2892~~ ~~2893~~ ~~2894~~ ~~2895~~ ~~2896~~ ~~2897~~ ~~2898~~ ~~2899~~ ~~2900~~ ~~2901~~ ~~2902~~ ~~2903~~ ~~2904~~ ~~2905~~ ~~2906~~ ~~2907~~ ~~2908~~ ~~2909~~ ~~2910~~ ~~2911~~ ~~2912~~ ~~2913~~ ~~2914~~ ~~2915~~ ~~2916~~ ~~2917~~ ~~2918~~ ~~2919~~ ~~2920~~ ~~2921~~ ~~2922~~ ~~2923~~ ~~2924~~ ~~2925~~ ~~2926~~ ~~2927~~ ~~2928~~ ~~2929~~ ~~2930~~ ~~2931~~ ~~2932~~ ~~2933~~ ~~2934~~ ~~2935~~ ~~2936~~ ~~2937~~ ~~2938~~ ~~2939~~ ~~2940~~ ~~2941~~ ~~2942~~ ~~2943~~ ~~2944~~ ~~2945~~ ~~2946~~ ~~2947~~ ~~2948~~ ~~2949~~ ~~2950~~ ~~2951~~ ~~2952~~ ~~2953~~ ~~2954~~ ~~2955~~ ~~2956~~ ~~2957~~ ~~2958~~ ~~2959~~ ~~2960~~ ~~2961~~ ~~2962~~ ~~2963~~ ~~2964~~ ~~2965~~ ~~2966~~ ~~2967~~ ~~2968~~ ~~2969~~ ~~2970~~ ~~2971~~ ~~2972~~ ~~2973~~ ~~2974~~ ~~2975~~ ~~2976~~ ~~2977~~ ~~2978~~ ~~2979~~ ~~2980~~ ~~2981~~ ~~2982~~ ~~2983~~ ~~2984~~ ~~2985~~ ~~2986~~ ~~2987~~ ~~2988~~ ~~2989~~ ~~2990~~ ~~2991~~ ~~2992~~ ~~2993~~ ~~2994~~ ~~2995~~ ~~2996~~ ~~2997~~ ~~2998~~ ~~2999~~ ~~3000~~ ~~3001~~ ~~3002~~ ~~3003~~ ~~3004~~ ~~3005~~ ~~3006~~ ~~3007~~ ~~3008~~ ~~3009~~

transporter chez elle, Les Douleurs d'entre ~~me~~
furent très Violentes Et ne donnoit pour ainsi
dire ala malade par un moment de relache
ainsi que le vomissement qui se mit delaparties

Comme la plupart des Jours de la Campagne
ne cherche du Secours qu'ala Dernière Extrémité
ce fut alors que la Dite rapineau ordonna
que l'on m'envoies chercher, apres m'être Informé
aupres du Commissionnaire quel pouvoit être
l'état de la malade Il m'envoia arri pour ne mettre
aucun retard a mon voyage; aussitot mon arri
aupres de la malade et apres l'avoir visité Je
reconnut que la tumeur Située dans leiquel étoit
un Intéro Epiplo^{le}my~~ph~~alae: cette tumeur étoit très dure
Et Juiégalle: Ma premiere Judication se porta
affaire la reduction des parties toubées par l'operation
que l'on nomme taxis, Et sans cependant blesser
la tumeur prenant bien garde au Contreind de
la violence:

Les Grands Accidents qui accompagnent pour
l'ordinaire les Etrengements, Suivire de tres pres
Et même le hoquet qui pour l'ordinaire ne vient
pas si promptement; l'inflammation de la tumeur
commençoit a paraitre, Et s'étendoit a plus de deux

Travaux de Poigt, à la Conférence de Chancé.
La fièvre & le vomissement étoit & le hoquet
étoit presque au Dernier Degré, je fit plusieurs
Saignées, proportionnées aux forces de la Malade;
Je ne fit plus au Cœur tentative pour la réduction
La voyant absolument impossible voyant bien
que la Gangrene menacoit très fort. Je donnai
avis aux parents du Danger où se trouvoit la
malade En leur Exposant alors que je ne
pouvais Voyant pour ainsi dire au Cœur moyen
de remédier à ce pareille Accident Surtout
étant aussi Compliquée que ceux la pouvoit être
Si non qu'un Seule Secours qui nous restoit à
qui étoit celui de faire l'opération, quoy que
Je la regardoit pour ainsi dire infructueuse.
Les parents & la malade ne purent pas de ce
Dernier avis, & dire qu'ils aimoit mieux la
voir mourir que de lui tenter faire une telle
opération. La malade avoit un Vin livide avec
un froid universelle tout cela me faisoit craindre
qu'elle ne mourut sans l'opération ou du moins
quel que heur après. Je fit des réflexions très
Sérieuses sur toutes ces circonstances; & Je n'osai



Par conséquent Entreprenre cette operation
La Considerant Comme Inutile, Et en outre
voyant que tout les parents si oposoit. Je Saigné
La malade de nouveau Et Jordonné que
dans la nuit on lui Ouvriroit la veine si ces
forces le permettoit, Je fit mettre sur la tumeur
des Cataplasmes Emolient Et resolutif dans
les quels ont fit fondre longuent de Guimauve
Le lendemain ~~un~~ sixieme Jour de la maladie
Je trouvé la malade avec malles que la veille
Et ne pouvoit être plus sans mourir Je lui fit
prendre une potion Cordiale par Cillerée, Et
on Continua l'usage Des Cataplasmes comme
auparavant. tout ces secours ne furent d'aucun
utilité a la malade; Comme la hernie avoit
été accompagnée d'accident tres violent Et
qui durera longtems Je Créquoit beaucoup
l'altération des parties ou un abcès dans le
Sac. ce qui arriva comme Je l'avoit bien
prévue; le onzieme Jour la malade me
renvoia chercher Et Elle me dit que la tumeur
Étoit devenue tres sensible Et bien plus Geome
que si devant, J'avois été deux jours later sans voir

Cette pauvre Malheureuse la considérant
comme morte, et Dailleurs n'ayant prévu
qu'un seul moyen de pouvoir la sauver
de ce danger; qui étoit celui de l'opération
faite dans le tems, Cert adire avant que les
parties touchées ne fussent gangrénées; j'examiné
avec attention la tumeur la quelle étoit d'une
grosseur énorme et la peau qui étoit toute
livide qui paroissant disposé à la gangrène
la quel seroit indubitablement arrivé si
je ne me fus pas déterminé à faire l'ouverture
de cette tumeur; après avoir fait les
remarques si dessus je conclus donc à faire
l'opération telle quel se trouvoit indiqué
quoiqu'il n'en résultant pas un grand avantage
attendu que la Malade étoit tout à fait mourante
tombant à tout instant dans des faiblesses
énormes: après avoir reposé au parent
Ainsi qu'à la Malade le danger évident
ou ill se trouvoit: Il me laissa le maître
de faire ce que je jugerois à propos, après
la malade me donna le tems de préparer



+ dernière
Bon appareil: cette ^{1re} fois faite je me
disposai à faire mon opération; Je fis avec
un bistouri droit l'incision suivant la direction
de la tumeur sans faire attention à la magni-
tude de faire cette opération ^{+ qui est} lorsque que
il n'y a point de gangrene & d'abcès dans
le sac: à peine les téguments furent il ouvrit
les matières fécales sortirent avec bruit &
en grande abondance, les quels étoit d'une
odeur insupportable. Il en sortit au moins pour
cette première fois près d'une pinte, & ayant
une couleur tirant sur le noir, je donnai
le temps au malade de se couler ~~afin~~
afin de faire plus facilement l'ouverture
du sac dans toute son étendue, quoiqu'il
se fut percé sous la peau dans le temps
de la formation de l'abcès, & encore pour me
mettre plus à portée de connoître les parties
contenues dans le sac: Je trouvai une portion
d'intestin de la longueur de deux à trois travers
de doigt qui étoit tout à fait pourrie & ne tenoit
pour ainsi dire rien à la partie saine qui lui

me fut possible de voir attendu quel étoit
pour ainsi dire rentrée en partie dans le
ventre cette portion d'intestin qui avoit été
pincée par l'anneau étoit entièrement pourrie
et permettoit au matières fécales de sortir
en une grande abondance par la plaie.
Je juge que l'intestin n'étant plus blessé
par l'anneau la dilatation de ce dernier
devenoit absolument inutile; J'ay avoit
aussy une portion assez considérable d'épiploon
de sorti avec l'intestin, la quel étoit entièrement
corrompue. Je tiré de ce viscère une certaine
quantité et je fit la ligature sur la partie
seine avec un aguiere ordinaire; et je lemné
un bout de fille hors de la plaie et je coupé
avec mes ciseaux la portion d'épiploon corrompu
au dessous de la ligature, je tiré la fille hors de
la plaie lorsque que la nature l'eut aut séparé.
Je lemné la partie intestinale qui étoit pourrie au
d'hors; comme l'intestin avoit été pourri ouvert
par la pouriture, je pourri la plaie le plus
mollement qu'il me fut possible, avec de l'huile



De Simple plumaneau trempé dans une liqueur
moderement spiritueuse que j'appliquai sur
l'intestin Je curai le reste de la playe avec
des plumaneau Sec. Dans ce premiere appareille
Je couvrit le tout de compresse soutenue avec
le bendage Inguinalle; ont fit des Inbrocations
sur le ventre les quels étoit renouvelles plusieurs
fois dans la journée. En suite de quoy Je saigné
la malade, on continua les Inbrocations &
sommation sur le ventre pendant la nuit.
Le lendemain de l'operation ala levée du premiere
appareille; le hoquet & le vomissement avoit
cessé, Je pansait la playe le plus souvent possible
afin de la nettoier des matieres Hercoralla que
l'intestin fournit Continuellement, & pour Inpeche
les Trisigelles & Incoriation que la crete des
matieres peut occasionner aux Inviron de la playe
Malgré tout les Soins pour les pansements les
Trisigelles & Incoriation vint aux Inviron de
la playe; j'appliquai des compresse trempé dans
leau de Sureau & une dixieme partie deau de vie
merle. En suite la quel nous produisit un bon fai

Je me servi de la levée du premier appareil
d'un digestif un peu animé, et je continué
l'usage des potions, attendu que les douleurs
que la malade ressentoit dans le ventre me
faisoit présumé qu'il y avoit inflammation
aux intestins grêles, c'est aussi ce qui m'obligea
à continuer les fomentations sur le ventre:
— Toute fois que les matieres vouloit sortir par
la playe la malade yrouvoit de grande
douleur d'entre sur tout proche l'anneau
Et aussitôt que ces matieres étoit sortie la
malade se trouvoit soulagé. Il me parut
que les grande douleurs que la malade yrouvoit
dans le ventre dans le tems que les matieres
vouloit sortir par la playe étoit occasionné
par l'adhérence de l'intestin aux parois ou bien
à l'anneau la Quelle ne lui permettoit pas
cette contraction péristaltique que la nature
a destiné à faire avancer les matieres contenues
dans le canal intestinal, ou bien encore de
ce que la Direction de l'intestin étoit changée:
— La Chaleur naturelle commença à se ranimer



Le troisieme jour d'operation Il y avoit beaucoup
de mucus mais se ne sechât par que l'on ne
fit usage des potions cordiales le meme regime
Et les memes peurements; les matieres sortoit
toujours en abondance par la playe, Et pour
avoir due on trouvoit a chaque peurement
des vers extrêmement gros et vivant qui estoit
a l'entree de la playe, les vents sortoit de
cette dernière avec bruit, comme Il sort
ordinairement par l'anus. Le sixieme jour
le malade estoit en si bon état que je supprime
les fomentations; Et deux jours apres je donnee
au malade qui criait a la faim. un peu plus

des nouritures
un peu plus Solide attendu qu'il estoit absolument extenué

Et cela ne pouvoit pas manquer d que d'arriver
vite que le chille sortant de l'estomac. Il y
en avoit pres de la moitié qui avoit depanché
dans le sang sortoit par la playe, en huit jours
de tems la portion d'angrennée d'intestin
que je n'avoit par remité dans le ventre se détacha
entièrement, je continue a panser la playe tout
simplement, et en fin les matieres cessent de sortir

Par la plaie le trente cinquième jour d'après
le jour de l'opération; on observera que depuis
le jour que l'opération fut faite c'est à dire
que l'intestin fut ouvert et jusqu'à celui où il
ne leva plus rien. Sortir la malade n'alla pas
à la selle, quoy qu'on eût éprouvé pendant tout
ce temps des envies très fréquentes d'aller, j'étoit
comme très persuadé qu'une partie des matières
ayent suivi la route du Canal. Il devoit y avoir
des brouilleries indurcies dans le ~~Colon~~ colon
cependant je ne fis point donner de lavement
créant que la malade ne fût des efforts capable
de rompre la cicatrice de l'intestin, mais je fus
obligé d'en venir au lavement afin de pouvoir
d'éclaircir ces matières aussi indurcies qu'elle étoit au premier
lavement qu'on lui donna. Elle rendi des matières
extrêmement dures, à la seconde selle elle fit une
portion très grosse et longue, d'épiploon, cela
me surprit on ne peut pas davantage qu'une
portion de ce viscère et pût pénétrer dans le rectum
pour en suite en être évacuée et vingt cinq jours
après la plaie fut entièrement cicatrisée, il survint

à la Malade une Influxe occupent l'extrémité
Inférieure des Cuisses & des Jambes, cette Influxe
se yana quel quatorze jours & la malade
Est parfaitement guérie;

Delibéré à Montréal ce vingt huit
Juin mil Sept cent Soixante & Dix sept

J. B. V. D.
Chirurgien